

2011年10月5日

各位

グローリー株式会社

姫路市下手野1-3-1

(東証・大証1部:6457)

パソコン一体型スキャナー DPステーション「FU-500」を開発 ～各種帳票類のイメージデータ化により業務の効率化を支援～

弊社は、様々な帳票類に対応できるパソコン一体型スキャナー DPステーション「FU-500」を開発し、来年2月より販売いたします。なお、10月12日から東京ビッグサイトにて開催される「eドキュメント JAPAN 2011」の弊社ブースにて展示(参考出品)いたします。

(主な特長)

①高性能なパソコン機能

従来のデジタル複合機ではできなかった業務アプリケーションの搭載が可能。
スキャンと同時にOCRにより書類内容を自動判読するなど、業務の効率化と厳正化を実現。

②パソコンとスキャナーを一体化

別途パソコンを設置する必要が無いため、省スペースを実現。

③ADFとフラットベッドの2種類の読み取り方法に対応

大量帳票の高速読み取り及びつづり帳票の読み取りが可能。

④インプリンターを標準搭載

ADFでスキャンした帳票に、通番や処理日付等の自動印字が可能。

近年、あらゆる業態の企業や官公庁において、様々な帳票が発生し、その処理にかかる工数は膨大なものとなっています。一方で、イメージ処理技術の発展やネットワークの大容量化にともない、電子化された帳票をOCRすることで入力作業を省力化したり、イメージファイリングにより保管や検索処理を効率化する方法が普及しつつあります。

この度開発した「FU-500」は、各拠点で発生する各種申込書等の帳票類をイメージデータ化して送信することで、エントリー業務の集中化や書類データの一元管理を実現するほか、e-文書法^{※1}に対応したスキャニングも可能としました。本体に高性能なパソコン機能を内蔵することにより、帳票毎の業務に特化した様々なシステムに展開できる優れた拡張性を有しています。

また、読み取り部にADFとフラットベッド^{※2}の2種類の方式を採用し、名刺からA3まで様々なサイズの大量帳票の高速読み取り(白黒A4片面:50枚/分)と、つづり帳票の読み取りを可能としました。

さらに標準搭載したインプリンター^{※3}での通番や処理日付の印字により、スキャン済み帳票の厳正管理が可能です。

今後弊社は金融機関をはじめ、流通交通・官公庁等あらゆる業態に対して、イメージ処理技術を活用した業務効率化を実現するソリューションを提供してまいります。

※1 2005年4月に施行された「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」(平成16年法律第149号)と「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」(平成16年法律第150号)の総称。

※2 ADFとは原稿を自動的に給紙する装置。フラットベッドとは原稿をガラス台に固定し、下から光を当てて読取装置を動かして画像を読み取る装置。

※3 ADFでの読み取り時に帳票に通番や処理日付などを印字する装置。

